

住んで つながい 支え合う 上押野区



☆この地は、570年頃から安曇氏が定着し開拓、開発された歴史を持ち安土桃山時代から押野と呼ばれるようになった。安曇郡前科(あづみごおいさしな)の里、その歴史が残る天王原には、蚕業用の桑畑から広大なワイン製造用ぶどう園となり新たな産業が芽生えている。

水と農地を守る…環境保全協議会
 里山を守る…里山整備実行委員会
 伝統漁を守る…高瀬川でカジカ漁(漁協)
 伝統文化を守る…獅子舞保存会、
 民謡舞踏愛好会、文化財を守る会
 区民を守る…福祉施設との災害協定

様々な活動をしている上押野区に住んで区

【区の支え合い・生涯学習活動】

区の加入率が高く、サロン、文化スポーツ活動などを通じ、仲間同士の絆を深めている。また、区が高瀬川親水公園のマレット場(27ホール)、グラウンド1面を持ち、各クラブや木戸対抗球技大会、三九郎、育成会などの活動の場として、子どもから大人までの交流の場となっている。

【区のデータ】

- 世帯数：226戸
- 隣組：37組
- 避難場所：上押野営農センター



【伝統・子ども参加のイベント】

- 八坂神社夏祭り(7月)
- 納涼祭(8月)
- 木戸対抗球技大会(8月)
- 押野正八幡宮例大祭(9月)
- マレットゴルフ大会(10月)
- 三九郎(1月)



災害伝言ダイヤル 171

※ダイヤル後、利用ガイダンスに従って録音・再生を行う。※録音時間は1伝言あたり30秒。